

香芝東中学校
学校だより



令和3年7月6日
校長 井上直規

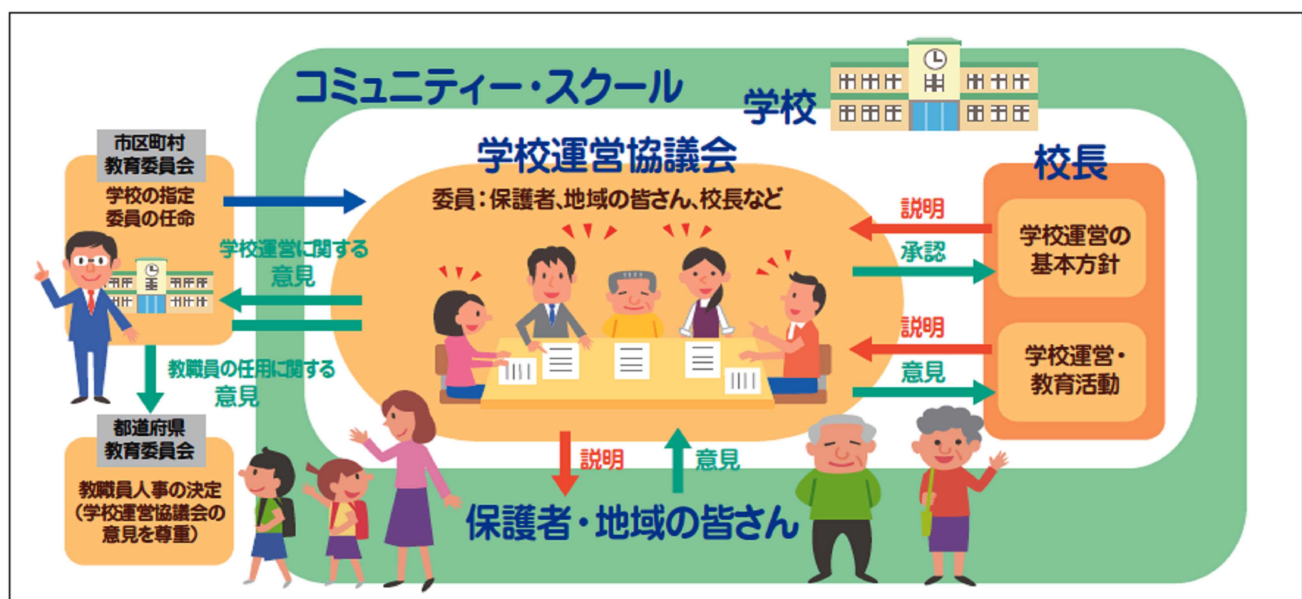
コミュニティ特集号

地域のつながりが薄れてきたと言われて久しい昨今ですが、香芝市では、将来を担う子どもたちが学び成長する場である学校やそこで学ぶ児童・生徒が、地域の誰からも関心を寄せられ、常に親しみのある存在となることを願い、平成20年に文部科学省からの提唱を受けて「学校支援地域本部事業」が立ち上げられました。そして、その事業の中で、地域が学校と熟議・協働しながら学校運営に参画する場としてできたのが「コミュニティ協議会」です。

コミュニティ協議会は、学校の先生の負担を軽減することも目的の一つとしています。そのためにボランティアのみなさんが学校を支援し、先生が子どもたち一人ひとりと向き合いきめ細やかな指導ができるようにする、いわば **学校の応援団** 的な存在です。また、時代は団塊の世代の大量退職時代を迎えており、まだまだ活力があり地域に貢献したいと願う経験豊かな人材がおられるはずです。そのような方々に活動の場と生きがいを提供するとともに、その活力を学校の教育活動に生かしながら教育そのものを活性化させるということも期待されています。

(香芝市教育委員会ホームページを参照)

■ コミュニティ協議会 + 学校運営協議会 = コミュニティスクール



※学校運営の責任者は校長であり、学校運営協議会が校長に代わり学校運営を決定・実施するものではありません。

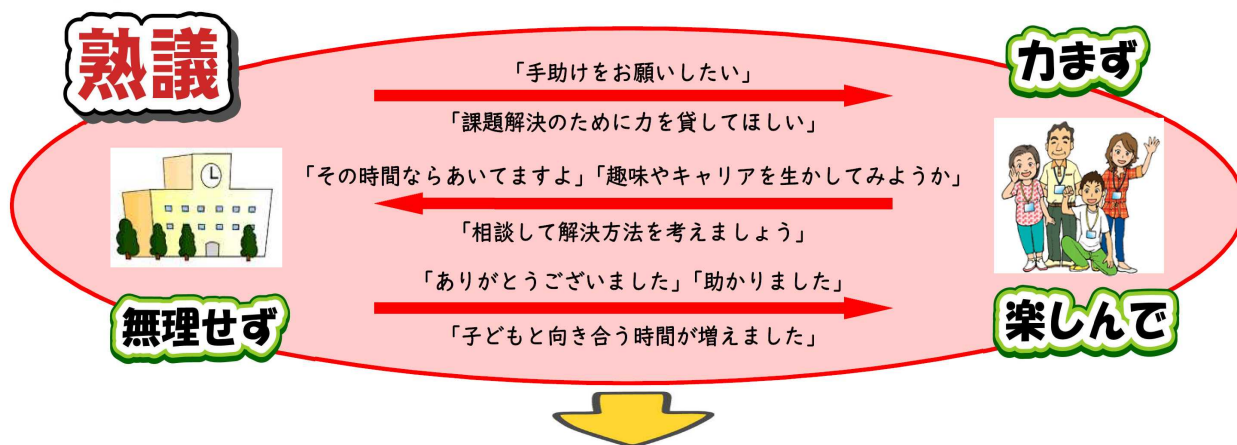
(文部科学省ホームページより引用)

平成29年の法改正を受けて、香芝市ではすべての小・中学校を「コミュニティスクール」化することになりました。

「コミュニティスクール」とは、学校運営や運営に必要な支援について話し合う「学校運営協議会」を設置した学校のことです。そして「学校運営協議会」と従来からの「コミュニティ協議会」が学校運営のビジョンを共有し、地域の子どもたちの幸せを願い、地域の学校をよりよくするために「自分事」として連携・協働していこうとする仕組みです。いわば「学校の応援団」から、「学校のパートナー」へのバージョンアップです。

また、学校でいきいきとボランティア活動する地域の大人たちと接した子どもたちはさまざまなことを学び、大人たちへの信頼を深め、さらに自らも地域のために貢献したいという気持ちを育ててほしいという願いも込められています。

香芝東中学校コミュニティへようこそ！



	学校は・・・ <ul style="list-style-type: none">○ 教師の負担が減る → 子どもと向き合う時間が増える → きめ細かな指導ができる○ 地域の人々との関わりが増える → 相互の理解が深まる → 地域に根ざした学校になっていく
	地域・保護者は・・・ <ul style="list-style-type: none">○ 教師と知り合う → 学校の敷居が低くなる → 地域・保護者と学校の連携が深まる○ 地域の子どもと知り合う → 他人の子どもでも注意できる → 地域で子どもを育てることができる○ 地域の住民と知り合う → 相談できる人が増える → 地域のつながりが深まる
	子どもは・・・ <ul style="list-style-type: none">○ 地域の大人と知り合う → 自分を知っている大人が増える → 地域で安心して生活できる○ 地域の大人と関わる → 教師ではできない活動が体験できる → 学びが深まる

本校では、コミュニティスクール化を踏まえ、平成30年度からPTAとの組織連携を図っており、昨年度よりコミュニティスクールとしてスタートしていますが、学校も地域・保護者の方々も子どもたちも、みんなが「WIN-WIN」となるような関係を築いていけたらと思います。今後も、ボランティア活動などの呼びかけをすることがあると思いますが、気軽にご参加いただき、楽しみながら活動ができればと思います。

※お配りしています「学校だより」は、モノクロ版になります。カラー版は、香芝東中学校のホームページに掲載していますので、そちらをご覧ください。